

令和7年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第3日目

1 招集年月日 令和7年9月11日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

1 開閉日時及び宣告

開議 9月11日 午前9時30分 議長 松田貴志

散会 9月11日 午後3時05分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内谷安宏	2番	福井裕美
3番	長尾隆資	4番	玉置守
5番	花房勝一	6番	瀬戸直一
7番	美馬友子	8番	松田貴志
9番	籾公一	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

4番	玉置守	9番	籾公一
----	-----	----	-----

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	海川好史
教育長	市川公雄	政策監	野上佳孝
福祉課長	長友清美	建設課長	上村和也
上下水道課長	大上誉司	福祉課課長補佐	杉山優子
建設課課長補佐	松田悦昭	上下水道課課長補佐	高田悦尚

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第3号）

開議宣言

日程第1 認定第1号 令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

1 本日の会議に付した事件

日程第1（第3号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（松田貴志君） ただいまから令和7年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，認定第1号，令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

建設課関連の詳細説明を求めます。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） それでは，建設課関係の詳細説明をさせていただきます。

まず最初に，資料2ページの5款農林水産業費から，5-1-11広域農道整備事業，県営事業になりまして，主な支出が，18-452負担金で699万1,950円になります。坂本の1の5工区橋梁下部工，それから与川内の1の7工区橋梁の耐震工事です。財源については，過疎債を充当しております。

次に，5-1-12農免農道整備事業，県営事業になります。主な支出が，18-453負担金475万6,746円になります。棚野地区2か所で路床工事を実施しました。財源については，過疎債を充当しております。

次に，5-1-17農業基盤整備促進事業，農業用水施設の整備となります。主な支出が，12-13測量設計委託料616万円，令和6年山西地区農業用水路修繕工事設計業務になります。次に，14-1工事請負費，水路修繕工事で987万2,500円，山西地区農業用水路修繕工事となります。財源は，国費，県費，地元負担金を充当しています。

続きまして，5-2-2林業振興費，林道の維持管理費になります。主な支出が，14-1工事請負費127万6,000円，林道婆羅尾岩屋線維持補修工事，ほか1，別紙で詳細は記載してあります。

次に，7款土木費です。

7-1-1土木総務費，土木管理費になります。2-3会計年度任用職員給料561万6,000円，土木支援員2名分の給料です。次に，3-32会計年度任用職員期末手当で114万6,600円，2名分の期末手当です。4-10会計年度任用職員共済組合負担金

151万5,804円，2名分の共済負担金です。次に，12-451道路台帳委託料189万2,000円，道路台帳整備及びシステム保守業務，ほか②で別添資料に詳細を記載しております。

次に，7-2-1道路橋りょう維持費，2-3会計年度任用職員給料になりまして206万3,170円，道路作業員1名分の給料です。次に，12-464土砂等取除き業務委託料325万6,100円，棚野立川線谷捌及び落石撤去業務，ほか5で詳細は別紙となります。14-1工事請負費2,436万5,890円，石原家台中山線維持補修工事（嵩上側溝工），ほか6で詳細は別紙となります。

次に，7-2-2町単道路改良費，12-3測量設計委託料247万5,000円，棚野石倉線改良工事設計業務，ほか⑦で詳細は別紙となります。14-1工事請負費2,998万1,600円，棚野立川線改良工事，ほか⑧で詳細は別紙となります。

次に，7-2-3県単道路改良費，県営事業になります。県道維持補修及び改良事業の負担金です。18-468県道維持補修及び改良事業負担金234万5,600円，道路整備所管道路事業負担金2件分となっております。道路改良で了仙寺工区，また交通安全対策事業で三溪・横瀬商店街，三溪地区の照明の負担金です。

次に，7-2-4道路改良費，国保対象となりまして，この目では3つの事業を実行しております。

1つ目の事業は，60012道路改良費，主な支出が，12-4設計監理委託料528万7,700円，坂本内谷線片栈道補修設計業務，12-14保守点検委託料660万円，令和6年度勝浦町道路防災点検業務となります。14-1工事請負費1,117万8,095円，坂本内谷線片栈道補修工事，ほか⑨で詳細は別紙となります。財源につきましては，国費と過疎債を充当しております。不用額855万1,710円のうち赤字の855万円を令和7年度に繰越しをしております。

2つ目の事業で，60033橋りょう長寿命化，主な支出が，12-4設計監理委託料1,362万6,800円，立川手洗橋ほか5橋橋梁修繕設計業務，次に12-14保守点検委託料1,322万9,700円，勝浦町橋梁定期点検業務で56件分になります。12-33計画等策定業務委託料1,252万7,900円，勝浦町橋梁長寿命化修繕計画策定業務になります。14-1工事請負費847万円，坂本内谷第3橋橋梁修繕工事，ほか⑩で詳細は別紙となります。財源は，国費と過疎債を充当しております。不用額の684万5,600円のうち赤字

の684万5,000円を令和7年度に繰越しをしております。

3つ目の事業になります。60034星谷橋架け替え事業、主な支出が、14-1 工事請負費137万5,000円、星谷橋架け替え工事右岸側堤脚水路、ほか⑩で詳細は別紙となります。16-2 用地購入費610万7,614円、土地購入費で5件分の土地となります。21-1 立木等補償費244万2,042円、物件移転等補償費となりまして3件が対象となっております。財源は、国費と過疎債、基金を充当しております。不用額3,418万170円のうち赤字の3,417万6,000円を令和7年度に繰越しをしております。

次に、7-3-1 河川維持費、2-3 会計年度任用職員給料385万6,834円、草刈り、軽作業員の2名分の給料になります。12-464土砂等取除き業務委託料241万5,600円、山田谷川上流部浚渫業務、ほか⑪で詳細は別紙となっております。財源は、緊急浚渫推進事業債を充当しております。

次に、7-3-2 県単急傾斜地崩壊対策事業、住宅の裏山等の危険箇所の整備を行う事業になりますが、本年度につきましては、要望がなかったため実績が0となっております。

次に、7-3-3 急傾斜地崩壊対策事業、県営事業となります。県営砂防事業等負担金となりまして、標識工の負担金になります。

次が7-4-2 一般住宅費、この目についても4つの事業を実施しております。

1つ目が、60016木造住宅耐震事業、主な支出が、12-459木造住宅耐震改修等アドバイザー業務委託料126万4,800円、耐震補強計画14件と耐震改修検査5件になります。18-475木造住宅耐震改修補助金1,181万5,000円、木造住宅耐震化促進事業補助金、耐震改修・スマート化5件となっております。財源については、国県補助金を充当しております。

2つ目の事業で、60020老朽危険空き家除去支援事業、主な支出は、18-480老朽危険空き家・空き建築物除却補助金で610万1,000円、空き家再生等促進事業補助金で、8件で除却を実施しております。財源は、国県補助金を充当しております。

3つ目の事業で、60028宅地造成事業で横瀬上川原団地2区画分の分譲に要する経費で、全体で16万5,480円の支出です。不用額につきましては、2区画とも売却ができなかったため、所有権移転登記等の手数料の経費が不用となったためです。

4つ目の事業で、60030住宅新築・改修支援事業、住宅の新築及びリフォーム事業

の補助金になります。18-493移住・定住支援住宅改修補助金1,012万6,000円、リフォーム補助金になりまして、32件分の実施をしております。3分の2の補助で30万円が上限となっております。18-494移住・定住支援住宅新築補助金810万円、新築補助金8件分の補助となっております。新築補助については、過疎債を充当しております。

次に、10款災害復旧費です。

10-1-2公共土木施設災害復旧費、異常気象等で被災した公共土木施設の復旧を行う事業です。12-3測量設計委託料2,613万3,800円、坂本下生実線復旧工事設計業務、ほか⑬で詳細は別紙となります。12-23調査業務委託料864万6,000円、棚野立川線アンカー基本調査試験業務、ほか⑭で詳細は別紙となります。14-1工事請負費4,790万5,300円、坂本下生実線復旧工事、ほか⑮で別紙で詳細を掲載しております。財源は、国費と起債を充当しております。不用額9,719万9,239円のうち赤字で9,719万7,000円を令和7年度に繰越ししております。

次に、10-2-1農業施設災害復旧費、被災を受けた農業施設の復旧を行う事業で、14-1工事請負費369万1,900円、沼江地区農道復旧工事、ほか⑯で詳細は別紙となります。財源については、国補助金を充当しております。不用額につきましては、変更契約及び関連工事費を見込んでいた分の経費になります。

次に、10-2-2林道施設災害復旧費、被災を受けた林道施設の復旧を行う事業で、全額で48万8,290円を支出しております。本年度の被害はゼロ件でした。

現年度合計3億3,299万8,864円の支出になります。

説明書の資料8ページが橋梁長寿命化事業のマネジメントシートで、9ページの写真が坂本内谷第3橋の修繕の写真と、10ページに生名石垣橋と棚野立川第8橋、それから立川柳小屋橋、3橋の設計業務の橋梁となっております。

11ページは、星谷橋架け替え事業のマネジメントシートで、6年度の事業実施内容になります。

12ページに、用地買収の図面を掲載しております。着色した部分が本年度購入した用地となります。

13ページが、木造住宅耐震事業のマネジメントシートになりまして、詳細を記載しております。実績はご覧のとおりとなっております。

以上で現年度分の説明を終わります。

続きまして、15ページからは繰越分になります。

最初に、7款です。

7-2-4道路改良費、国補事業で、これも3つの事業を実施しております。

1つ目が、60012道路改良、14-1工事請負費1,814万8,400円、横瀬与川内歩道補修工事になります。財源については、国費と過疎債及び補正予算債を充当しております。

2つ目の事業が、60033橋りょう長寿命化になりまして、12-4設計監理委託料1,455万8,500円、立川手洗橋、ほか5橋、橋梁修繕設計業務になります。財源については、国費と補正予算債を充当しております。

3つ目の事業で、60034星谷橋架け替え事業、12-23調査業務委託料1,496万円、勝浦川漁協補償調査業務になります。14-1工事請負費458万7,000円、星谷橋架け替え工事右岸側堤脚水路です。財源は、国費と過疎債を充当しております。

次に、10款災害復旧費、10-1-2公共土木施設災害復旧費、14-1工事請負費7,946万1,000円、棚野立川線、ほか⑱で詳細は別紙となっております。財源については、国費と現年公共土木債を充当しております。

次に、10-2-1農業施設災害復旧費、12-3測量設計委託料176万円、沼江地区農道復旧工事設計業務、12-23調査業務委託料251万9,000円、沼江地区農道地質調査業務、次に、14-1工事請負費760万4,000円、沼江地区農道復旧工事で、財源については、国補助金を充当しております。

繰越合計が1億4,379万5,900円の支出になります。

16ページが、橋梁長寿命化事業のマネジメントシートになりまして、17ページに、修繕設計対象橋梁3橋、第2溝内橋、立川手洗橋、立川広安橋の写真を添付しております。

18ページが、星谷橋架け替え事業のマネジメントシートで、19ページに、実施工事の完成後、完成前の写真を添付しております。

説明書については以上です。

別のファイルの説明書資料ですが、説明資料、映ってますか、いけますか。

説明資料ですが、各科目の12の委託料と14の工事費について事業内容を契約ごとに

記載してあります。

また、先ほど説明した表の中で丸の数字がございましたと思いますが、この表で左側の丸数字と、さきに説明した説明書の業務内容ほか、丸数字がそれぞれ同じ番号で連動しております。

それから、5ページの赤枠、赤文字の7年度への繰越額についても、説明書の赤文字の繰越額と連動しております。

以上で建設課の説明は終了いたします。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

建設課関連について質疑はありませんか。

瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） お伺いします。

60012の道路改良なんですけど、この不用額がようけありますよね、繰越して、7年度に繰越して、850万円ぐらい。

○建設課長（上村和也君） 5ページで。

○6番（瀬戸直一君） 5ページ。

これは、災害がなかった、災害というか、補修がなかったっちゃうこと、余った減っていることなんでよろしいんですか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 工事において想定していた額よりも安く安価で執行できたことにより繰越額が発生しております。繰越額の855万円のうち主な事業については、7年度に実施予定の道路防災点検に充てることとしております。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） 分かりました。

それと、ちょっと話は違うんですが、この間の台風で第9分団の消防車が出る前に土砂が崩れていて、ほんでこれは台風が来るたびにあるんですよ。今回は総務防災課にも連絡して来てもらうて見てもらうたんやけど、消防団員が言うには、手間賃は出んのんかということで、出ませんということだったんですが、今回は見てくださったんでしょう、9月5日の金曜日の件なんですけど。

それで、取りあえず一斉清掃で区民の方にのけてもらってくださってということだったんですが、のけたみたいなんです。だけど、毎回大水が出たときに土砂崩れが起こるんですよ、あそこは。それで、何か対策してもらうか、ほうせんと消防車が出動でけん場合ができてくるんですよ。そやけん、これ何とかちょっと考えてもらえませんかという事なんです。

一般質問で言うたほうがえかったかな。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時01分 休憩

午前10時04分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） また、今後につきましては、総務防災課のほうと協議しながら現場も確認させてもろうていろいろ検討していきたいと思います。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） よろしくをお願いします。

終わります。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） そしたら、建設課、2ページ目の広域農道整備事業っていうんでちょっとお尋ねをいたしたいと思います。

広域農道については、1市3町村、徳島市、佐那河内村、勝浦町、上勝というようなことで、非常に長い年月がかかっております。計画から50年、そして施工に当たって40年っていう長い期間が過ぎております。

7月の一般質問のときにも質問なりお願いをしたところでございます。7,000万円、毎年こういう負担金を、県営事業でございまして、勝浦町としては負担金というような形で県にお願いをしながら進めておる事業でございまして、あまりにもちょっと長過ぎるところがございまして。早くしてもらいたいんだったら7,000万円をもっと上げていただいて、県のほうもできるだけ増額をしながら早く完成にこぎ着けていただきたいという一般質問でもお願いしたとおりでございますので、この7,000万円、今回は7,000万円ぐらいですが、次年度においては県にもお願いして増額し、延

長も延ばしながら早期の完成を目指したいというようなことをお願いしたいんですが、県にもこの間会議のときに話したんですが、県に聞いてもいつ完成が見込めるかわからんっていうようなことだったんですが、まずそれについては、私はもうできなったら結局言うたら無用の長物がところどころあるっていうようなことで、農業関係者にしても非常に懸念もしておりますし、それが少々使えるのであればええんですが、なかなか使うような形にならないというようなことで、できるだけ県にもお願いしながら早くの完成を願いたいと思いますが、その中で来年に向けてでございますが、ちょっとお願いもしておきたいんですが、今できているところの管理ですね、管理をしていくには、この間の話、答弁でもございましたけれども、一部町道にして町道関係の中で管理をしていくというような方向でございました。そういうなところも踏まえてどうしていくかっていうのを来年に向けた形での考え方があるかないか、どういような対策があるかっていうんをお聞きしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 予算の増額の話なんですけど、これにつきましては広域農道の協議会の総会時に、県も来てくれる会なんですけど、その場、立場で町長も増額っていう話はちらっとは挨拶の中ではしてくれましたんですけど、確定とかほんなんではないんですけど、要望はしております。

町道につきましては、県のほうとも協議しながら、町道移管に向けてどうしたらできるかっていうのを、今後県の担当者とそっちのほうに向かって進めていくのは可能かなと思いますので、いつっていう時期はまだなんですけど、前向きに検討していきたいと思います。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） その件について、8月にも期成同盟会の総会がございました。ほんで、町長もご出席されたように私は思っておりますが、その件についてどうい勝浦町からの要望なり、県からのお話っていうようなのがあればお願いしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 広域農道、議員おっしゃるように、非常に長い年月をかけて整備している事業なんですけど、なかなか県も国からの予算がつかないというような状

況で、勝浦町、上勝、佐那河内、徳島といったような広域農道なんですけど、今は勝浦と上勝の分しか事業ができていないというのが実情でございます。

おっしゃるように、つながってこそ本当の効力を発するような道路だと思いますので早く、これは毎年のことですが、期成同盟会議なり、また4市町が、町村が集まっての会議もして県に要望もしているところで、今はそういったところで事業促進を図っていているというような状況です。

以前には、勝浦と上勝だけで東部、県の農林水産局のほうに要望に行った経過もあるんですが、なかなかこういった事業への全体の事業費が国からついてこないというようなのが実情なのかなというふうに思います。

それと、町道への移管の問題なんですけど、以前にもちょっと提案というようなところまでいっていたんですが、なかなか整備ができないとおかしいんじゃないかというような意見もございます。

ただ、維持管理に関しては、県は整備するのが県の事業であって、維持管理のほうについては、多くの事業費は投入できないというようなスタンスでございますので、町民が生活、あるいは農業に関して使用する部分についての維持管理は地元と協議しながらやっていきたいなというふうに思いますし、町道としての用がなすようであれば、町道として引き受けることも検討していく必要があるというふうには思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 実情もよう分かります。ほんで、国、県、また町の負担金もいろいろあると思うんですが、究極は早くの完成ですね、早期完成をしながら地元之恩恵が現れるような形でしていくのが一番いい形なんで、これを、町長おっしゃるように、要望を随時かけていていただいて、県との協議なり国との協議等々をしながら進めていただきたいと思います。

ここで、野上政策監のほうで県のほうの絡みもございまして、ご意見をお聞きしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 野上政策監。

○政策監（野上佳孝君） 議員おっしゃるとおり、もう本当に少しでも早く効果が出

るような形で、管理の部分についても、住民の皆さんとか、そういったところに迷惑かからないように、県のほうとも連携しながら取り組んでまいりたいと思います。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） どうもありがとうございます。

野上町長，また野上政策監のご意見等をいただきまして，前に進んでいけるような形でお願いもしておきたいと思いますので，ぜひ何か見解がございましたら，ほんなら県と国のほうのつなぎも取っていただいて，早期完成が図られるようよろしく願いしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） まず，資料の5ページの60012の12-14保守点検委託料，勝浦町道路防災点検業務ということで660万円ということですけど，これ道路の災害を未然に防ぐための点検だろうとは思んですけど，今までなかったような気がするんですが，この点検の内容云々，結果，そこらを教えてください。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 道路防災点検で，主要道路で危険な箇所のピックアップをしまして点検をしております，6年と7年で実施をする予定としております。6年度に13か所，7年度に11か所を予定しております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ということは，まだ今現在進行中で，結果云々はこれからっていうことで，そういうことやね。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 7年度も実施しておりますので，まだ成果が上がってきたらまた分かるようになります。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） これについては理解しました。

次に，4ページの60009の12-455草刈業務委託料で，項目が令和6年度生名大井線草刈等業務ほかで，3のところを見たら2つの箇所をやられとんですけど，今年につき

ましては建設課の作業員の方がやられとると思うんです。過去においてはどっか外に出しておったっていうことかな。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） うちの作業員とシルバーのほうにもお願いをして草刈り等をしておると思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 6年度はシルバーでっていうこと、じゃない。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 6年度も7年度も同じように作業員とシルバーと両方委託してたと思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 何でかっていうたら、今年めっちゃきれいにしてくれよんです。いろんな人からお褒めの声をいただくので、作業員の方がすごいきれいに丁寧にしてくれるのかなと。前は委託しとってそんなにきれいじゃなかったんかなと思ったんで質問しました。一緒っていうことやね。

ほな、もう一点。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） その同じページの10-2 消耗品ということで、凍結防止剤ほかっていうことなんですけど、この凍結防止剤、住民がもらいに来て、まいてくださいというところもあるんですが、主要道路っていうんはどっか業者をお願いしとんよね、これって。これはしてないんですか、今は。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 県道は、県のほうで業者に委託しとんですけど、町道については……。

○5番（花房勝一君） していない。

○建設課長（上村和也君） していないです。

橋梁については……。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時19分 休憩

午前10時20分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 生名大井線については、生名の業者のほうで委託してローテーションでお頼みしておるといところで、ほれと主要な橋梁については橋台の近くのほうで随時、随時というか、ここへ持って行ってやるというような、凍結防止剤をまくんでなしに持って行ってやるってというような状況です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 置いてあるのでまいてくださいっていいんですか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 事前に置いてあるので、まくのはお願いしますということです。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 了解しましたんで、また。実は今年の冬まいて腰を痛めました。業者はおるのかなと思ながらまいたんで、これは理解しましたんで、ありがとうございます。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） 小さなことなんですけど、4ページの県単道路改良のところなんですけど、県道の隅に本当に小っちゃな穴が開いてて、これぐらいはいいかなってほっといたら、だんだん穴が深くなっていっているんです。時期が違ったら区のものなことをしてほしいっていう要望に上げていけるんですけども、今の時期ってそういう時期じゃなくって、このまま置いといたら穴がもっともっと深くなるんで、できるだけ早い時期に小っちゃい穴でも塞いどいたほうがいいなって思う場合は県道でも町の建設課に言ったほうがいいんでしょうね。その確認をしたいんです。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 県の道では県の管理になりますので、情報が入り次第、

県のほうに連絡を取って対応をお願いしているよう、町単の要望と一緒にないと受け付けんとかでなしに、随時情報が入れば県のほうには連絡して、その後の対応についてはお願いしておるといふところです。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 分かりました。

それと、リフォーム助成の件ですが、大変町民から歓迎されております。今年も32件されたってことですが、要望は何件あって32件施工されたのでしょうか。お尋ねします。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 当初35件の要望があって、28件抽せんで決まりました。その後、予算の流用とか余った分で最終的に32件になったんですけど、キャンセル待ちの方と含めて合計32件の執行となっております。そやけん、当初は35分の28が抽せんで決定しました。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 28件でオーバーするんであれば、もう少し枠を広げてするってことは可能なのか、また検討していただきたいと思います。

それは何でかって言うたら、近所のお年寄りが台所をもっと使いやすくしたいとか、割と細かいリフォームをしたいっていう要望が今年も来たりして、そういうリフォーム助成があるってことをまだ十分知らない人がおって、ほんで少ない年金からそのリフォームをしたわけですが、だから高齢世帯が多くなって今までできていたことが不便になる。だから、枠をもう少し高齢世帯用とか別枠をつくっていただいて、そういうほうにももうちょっと周知をしていただければもっともって町民に感謝されるリフォーム助成になるんじゃないかなと思って、この去年の決算を見て思いました。

28件のところ32件していただいたことは本当にありがたいと思っておりますので、もっときめの細かい町民が使いやすいリフォーム助成制度に発展させていただきたいと思っております。

○議長（松田貴志君） いい、何か言えば……。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 対象者を高齢者とかっていう区別はないですと、その件数についても予算の枠内でできる件数で実施しておりますので、枠についてはいろいろ検討はしていきたいと思います。

○議長（松田貴志君） 笹議員。

○9番（笹 公一君） ちょうど説明資料は4ページっていうことだったんで、そこが開いとるんでちょっと確認したいんですが、一番下のところの18-468のところを説明するとき、先ほどこの県単道路の改良のどこなんです、この分のところで三溪地区と何とかというて言よた、これは水銀灯の話ですか。ちょっとほの内容をもう一回言うてください。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 三溪地区の商店街の水銀灯の事業になります。

○9番（笹 公一君） そうやって言うたね。

○建設課長（上村和也君） はい。

○議長（松田貴志君） 笹議員。

○9番（笹 公一君） そしたら、これ6年度では1基、あそこへつけてもらったと思うんですが、その分だけではないんでしょう、この234万5,600円っちゅうんは。というんは、5年度も同じぐらい出とんですね、264万円ぐらい。ほいで、5年度にも1基ついただけ、それは分からへんけど、4年度はついとらんけど、4年度でも同じように250万円ぐらいのこれで出とんで、ほの分だけの予算ですか。水銀灯に対する負担だけと違うでしょう、何かほかのもんもあるんでしょう。

その辺は、水銀灯の分と、さらにどのぐらい地元が負担せにやいかんのんかちゅうことあるんやけど、ついとるときとついとらんときとほんなに金額変わらんもんやけん。

去年1基つけてもろうておとしも1基つけてもろうたでしょう。その分に対してどのぐらいの大体金額、負担金が要るんですか、地元の負担っちゅうんは。僕、ほんな地元の負担が要ると今まで思うてなかったんで。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） その商店街の水銀灯に特化したんでなしに、新浜勝浦線とか了仙寺工区とかいろいろ県単道路の全体をひっくるめた額になりますので。

○9番（笹 公一君） そういうことやろうね。

○議長（松田貴志君） 笹議員。

○9番（笹 公一君） ほかに、というんはついてないときでも年度でも250万円ぐらい要っとるから。

○建設課長（上村和也君） ほかの事業もあります。

○9番（笹 公一君） ほやけん、去年1基とおとし1基つけてもろうたんやけど、あれつけてもらうのに、ほんで地元の負担金はどのぐらい要るんですかっていうこと。分かるん。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時29分 休憩

午前10時30分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 本年度の交通安全対策事業の予算っていうか、事業につきましては、95万6,000円の1割で9万6,500円という。

○9番（笹 公一君） 町としてあれつけてもらったときに要るということですか。

○建設課長（上村和也君） はい。

○議長（松田貴志君） 笹議員。

○9番（笹 公一君） というのは、この前県に行ったときに今年度とかまだもう少しつけてくださいっていうようなことで県も見に来てくれるっていうような話だったと思うんですが、町道との交差しとるところとかは優先、町長も言うてもろうたんやけど、これに対して、結局この町の負担がかなり要るっていうんだったらちょっとこれも考えもんかなと思うたんやけど、それほど大きな金額が要るっていうことではないんやね。ここで言うとな何百万円も要るっていうような話ではないんやね。今10万円以内ぐらいの負担金で済むという、そういうことでいいんですか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 事業費の1割の負担となっておりますので、ほの設置基数とかによって額は変わるんですけど、6年度の実施が95万円で、負担が9万5,600円となっております。

○議長（松田貴志君） 節議員。

○9番（節 公一君） 確認。要は1割が地元負担で要ると、町の負担で要ると、そういうことですね。

分かりました。

○議長（松田貴志君） 私から1点いいですか。

アプリで、前も聞いたかも分らんけど、道路損傷の報告ができるようになったんじゃないですか。ああいうアプリ機能を使って、今日は決算やけん、6年中に何件報告があったとか、何かそういう細かい部分のデータというか、今ありますか。どういう対応をしたとか、今はない。ありますか。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 今はデータとして収集はしておりません。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時34分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

アプリで意外とほかの自治体、以前にもちょっと言わせてもろうたかも分からないけど、ほかの自治体でアプリから報告することによって迅速に対応できるとか、また町の職員でなかなか目配せできんところでも、多くの町民の目線によって発見が早く対応できるっていう部分もあると思うので、そこらあたりのせっかくの機能を生かすためにも、その利用の周知であるとか、今までどういった形で報告が上がって、どういった対応をしたとかという部分の結果も知りたいなと思って質問させてもらいました。

だから、現状の対応と、もし何かデータがあれば見せてほしいんですけど、そこらあたりは可能でしょうか。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） アプリの活用についてですけど、6年度については損傷とかで、データはあると思うんですが、収集はできてないです。

それから、区長会で町道の要望等についても、これを利用していただいて報告も可能というふうな周知もさせていただきましたが、皆が皆同じレベルでないんと、選択

肢の一つとしてほういうんもありますという、利用してくださいという周知は区長会ではさせてもらいました。

以上です。

○議長（松田貴志君） ハードルを上げ過ぎて使いにくかったらあまり意味もないので、気軽につちゅうたらちょっと失礼な言い方かも知らんけど、やっぱりちょっとでも気になったらさっと町民が行動に移せるような雰囲気づくりに努めてほしいと思います。

以上です。

ほかに質疑はありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） お願いします。

なるほど、アプリの活用、私も今初めて知りました。

では、関連してお伺いしたいんですけど、県道維持補修とかっていうのは、私ちょっと歩きようたら柳原のところの道路を直してくれとんやけど、90センチぐらいの幅を残して補修しようけん、がたんってバウンドするのよっていうのを聞いて、ほんでそれからしばらくして直してくれとったんですけど、道路の補修をしてくれとったんですけど、その補修の費用っていうんはここから出てるっていうことですか。ちょっと教えていただきたいんですけど。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 今言われた維持管理の分については、負担はないです。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） 分かりました。

すいません、この場を借りて、傷んでないところだけを埋めとるんやけども、90センチぐらい残して補修しとんですよ。それもほかのところでも言われよったんやけど、もうちょっと真っ平らにできるように、何ていうんですか、傷んどうところだけ埋めるじゃなくて、そういうんって言ってほしいなと思うんで、お願いしておきます。

これって県のほうに。

○議長（松田貴志君） 県道だけの、県道だけの話。

○2番（福井裕美君） 県道と、あっこは、じゃないともあります。公文の先生の家の前、がたがたよって。何かこんな直し方され方したらあれだと。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 県道の補修の修繕の仕方については、県のほうで何か方針があるんだろうと思うんで、うちからどうのこうのってなかなかなんですけど、町道については要望があれば確認して、その内容についてちょっと検討はしていきたいと思います。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） アプリからちょっと活用したいと思うんですけど、すいません、政策監、お尋ねしたいんですけど、なぜあのような傷んどるところだけ埋めて、もうあとこんだけなんですよ。これだけ何で残すというって、ほんで断面から見たらこうなってるわけですよ。ほんで、バウンドするっていう、その振動がっていうんで、きれいに直してくれたけんいいんですけど、どのようなオーダーというか、どのような流れで、どのようなオーダーをされているのでしょうか。その辺の、答えにくい、ちょっとそう思ったんですよ。お願いします。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時40分 休憩

午前10時41分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

福井議員。

○2番（福井裕美君） では続けて、あと一つなんですけど、5ページの星谷橋架け替え事業なんですけれども、これの執行率が23.12%っていうのは、それを説明していただけませんか。

この前の7月会議では、順調よく予定どおり進んでますと言われてましたけど、23.12%というのは、現在の状況というか、教えていただけますか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 用地取得において生名側で9名中5名と、あと一名の方と、2筆中1筆が未取得となっており補償費を繰越しと、6年の補正予算により増額した分についての繰越額となっております。

○議長（松田貴志君） 一応心配されよんは、進捗がスムーズなっていよんやけど、そこらあたり心配ないんかだけ言うといてもらえる。

ほな、ここまで追加でお願いします。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 補正予算で今年度する予算を6年度で前取りしようみたいなイメージで、6年度に補正がついて予算をなるべく確保しているというような現状がありますので、繰越額はこのような額になっておるといこと。

あと、それと進捗率につきましては、現状のとこ、特に問題ないと考えております。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） なるほど、ちょっと多めに見積もってこんだけ要るって、予算の前取りっていこととそれをずっとずっとためていくっていことですね、何年間もかけてってい理解でよろしいですか。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時44分 休憩

午前10時49分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 6年度当初予算については、予定どおり執行できています。補正予算で追加した額についての繰越額になりますので、ほの分が繰り越されるようなイメージとなっております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） よく分かりました。じゃあ、置きます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 全体予算3億3,299万8,864円の決算額、それから不用額が1億5,280万7,136円ということとございます。これトータルしますと、4億8,580万6,000円ということと非常に大きな額なんで、建設課サイドとしては非常に大きな額を運用されるっていことと、非常に頑張っているといこととで思います。

ほんで、もう時間もないので簡単に申しますが、不用額でございます、1億5,200万円余りのところでございますが、その中のほとんどが繰越しになっていると思います。今、小休中に町長がご説明していただいたんですが、そのとおりだと思います。そういう経過がある中で、この不用額の中の繰越額の今の進捗率っていうのはどのぐらい、大体の見当で、課長の大体の何十%ぐらいっていうんでどのぐらい執行できてますか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 感覚なんですけど、繰越額で言いますと、災害とかでしたら全部契約して繰越ししてますんで、前金だけ6年度へ入るって、これ以外のっていうイメージで、ほかの事業についても、率はちょっと今は分からんんですけど、大きな災害とかになりますと9,700万円とかあるんで、その契約はおおむね契約して繰り越してます。前金だけ払うとるという状況なので、執行率は大分災害についてはいいのかなって思っています。率は個別の事業で7年度分になるんで、ちょっと数字は分かりません。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） ありがとうございます。

パーセントの提示はちょっと難しいかも分かりません。もう4、5、6、7、8と5か月間取りあえず進んでますので、繰り越した額についてはできるだけ早い執行をお願いしたいなというふうに思っています。

それと、もう一点お聞きしたいんですが、測量設計委託料っていうのが2,600万円余りありますが、大きな事業でありますと課内では設計ができないというようなことで、外注をされると思います。できるだけ外注も結構この金額が高くなっておりますので、できれば小さな簡単な災害復旧の設計等は自分たちでできんのかなということもありますので、その点どうですか。もっと自分たちでできるところはやるっていうようなことはございますか。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 災害については、もう業者に委託して設計してもらっているというような状況で、建設課内でするような、もう今は手間もないし、こっちでつくってっていうような状況ではないです、今は。委託して業者のほうでお願いして

おります。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 災害はほな委託，ほんたら町道改良は。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 町単とかについては，測りに行って絵を描いたりはしている工事も若干あります。委託もするところはあるんですけど，できる町単の工事等についてはできる範囲で絵を描いたりしてます。

以上です。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 大分今聞きますと，ほとんどが委託かなというような気がしますが，技術的なところもあるし，予算的な配分もあるんだろうと思います。また，課員の数も限られた中でやっているということもあるんだろうと思いますんで，了解でございますが，その何につきましては，課長判断で，できる限りお金を抑えるという意味でもできることについては自分たちで設計をお願いして執行していただきたいなというふうに思っています。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは，これで建設課関連の質疑を終わります。

議事の都合により，休憩します。

午前10時56分 休憩

午前11時10分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

上下水道課関連の詳細説明を求めます。

大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） それでは，上下水道課の決算につきまして，決算主要事項説明書と決算認定資料により説明させていただきます。

最初に，一般会計の決算主要事項説明書について説明させていただきます。

4－1－4 環境総務費，18－473小規模飲料水供給施設等整備補助金16万1,000円，

内容といたしましては、中角馬越水道組合の給水圧力タンク交換に対する補助金でございます。

続きまして、4-2-2し尿処理費、18-225小松島市外三町村衛生組合負担金3,786万8,241円です。内訳といたしまして、衛生組合負担金3,466万8,341円と、し尿処理負担金319万9,900円でございます。

なお、令和6年度から負担金の余剰金の返還を受けております。令和6年度の勝浦町の返還金は618万5,659円でございます。

続きまして、4-2-5合併浄化槽推進費1,645万8,985円、内訳といたしまして、10-4印刷製本費6万8,200円、11-4手数料1万8,785円、18-227合併浄化槽設置整備事業補助金1,637万2,000円でございます。こちらは、令和6年度に実施いたしました18件の事業費でございます。

続きまして、一般会計の主な事業内容をマネジメントシートにて説明させていただきます。

事業タイトル、事業名称が勝浦町特定未普及地域水道施設設置及び維持管理費補助事業でございます。

目的といたしましては、特定未普及地域における水道施設維持管理及び施設整備を行う者に対し補助金を交付いたします。6年度の事業実績といたしましては、中角馬越水道組合の圧力タンクの交換のために補助金を交付いたしました。交付金額といたしましては、事業費の3分の1で16万1,000円でございます。事業費の財源内訳といたしましては、一般財源が16万1,000円でございます。

続きまして、事業名称が小松島市外三町村衛生組合し尿処理施設整備事業でございます。

事業の目的といたしましては、町民の公衆衛生の向上と生活環境保全、自然環境保護を目的とし、町内のし尿処理の向上を図ることとしております。6年度の事業内容といたしましては、衛生組合への負担金3,468万8,000円と、し尿処理費の負担金320万円でございます。財源といたしましては、事業費が3,786万8,000円で、うち地方債が160万円と、一般財源が3,626万8,000円でございます。

それで、先ほど説明させていただきました令和6年度からの還付金でございますが、こちらの生産額の中で勝浦町分といたしましては618万5,659円の返還がござい

したので、実際に負担金で払いましたのは3,466万8,341円でございます。

続きまして、事業名が勝浦町浄化槽設置整備事業でございます。

事業の目的といたしましては、町民の公衆衛生の向上と生活環境保全、自然環境保護を目的とし、町内の汚水処理普及率の向上を図ることといたしております。令和6年度の実績といたしましては、18基の合併浄化槽への転換をすることができました。事業費と財源内訳でございますが、事業費が1,645万9,000円でございます。うち国県補助金が860万2,000円、一般財源が785万7,000円となっております。

以上で一般会計の事業内容の説明を終わらせていただきます。

続きまして、勝浦町簡易水道事業の収益的収入及び支出の決算を損益計算書にて説明させていただきます。

営業収益は6,473万9,746円、営業費用は1億3,759万7,774円ですので、営業損失は7,285万8,028円となります。

次に、営業外収益が7,639万2,571円で、営業外費用が540万1,907円ですので、営業外利益が7,099万664円になります。

営業と営業外を集計いたしますと、186万7,364円の損失となり、特別利益が451万2,643円、こちらは過年度損益修正益、こちらは令和4年度と5年度の消費税の還付金があったためでございます。最終的には、264万5,279円の純利益が出ました。

次に、資本的収入及び支出につきましては、決算主要事項説明書について説明させていただきます。

事業名が中山横瀬簡易水道改良事業でございます。

事業の目的といたしましては、勝浦町簡易水道中山横瀬地区の老朽化した水道施設（管路）を更新し、住民に水を安定供給することでございます。令和6年度の実施内容でございますが、檜淵区域、上川原・下川原地区の配水管布設工事が延長460メートルで、ダクタイル鋳鉄管の150の管を交換工事をいたしました。また、中山区域配水管布設替え工事が1工区と2工区ございまして、1工区が152メートル、2工区が113.6メートルの布設替え工事を行いました。事業費と財源内訳でございますが、事業費が2,589万3,000円、国県支出金が770万5,000円、地方債が1,540万円、一般財源が278万8,000円でございます。

続きまして、事業名が西岡地区水道改良事業・山田未普及地域解消事業でございます。

す。

事業の目的といたしましては、西岡地区の老朽化した水源地・配水池の改修及びふだんから断水が頻繁に起こり生活に支障がある水道未普及地域、山田未普及地域、山田地区への対応としております。令和6年度の実績内容といたしましては、管路工事を主に行いました。工区は2工区に分かれておりまして、1工区では送水管、配水管などの布設工事を行いました。2工区も同じく配水管の設置工事を行いました。事業費と財源内訳につきましては、事業費が1億6,955万4,000円、国県支出金が5,469万5,000円、地方債が9,820万円、一般財源が1,665万9,000円でございます。

以上で勝浦町簡易水道事業の決算説明を終わらせていただきます。

次に、勝浦町農業集落排水事業の収益的収入及び支出の決算を損益計算書で説明させていただきます。

営業収益は799万559円、営業費用は4,783万9,027円ですので、営業損失は3,984万8,468円となります。

次に、営業外収益が3,966万9,917円で、営業外費用が144万8,136円ですので、営業外利益が3,822万1,781円になります。

営業と営業外を集計いたしますと162万6,687円の損失となります。営業利益が163万6,535円で、こちらも簡易水道と同じで過年度損益修正益、令和4年、令和5年の消費税の還付金があったためでございます。最終的には9,848円の純利益が出ました。

次に、資本的収入及び支出については、決算主要事項説明書について説明させていただきます。

事業名が農業集落排水処理施設機能強化対策事業でございます。

目的といたしましては、経年等により機能低下した農業集落排水処理施設の更新を行い、施設強化、機能回復を実施し、長寿命化を図ることといたしております。令和6年度の実績内容といたしましては、令和5年の繰越しになりますが、自家発電装置の60キロの設置工事を行いました。事業費と財源内訳につきましては、事業費が3,700万1,000円、国県支出金が1,850万円、地方債も1,850万円、一般財源が1,000円でございます。

以上で勝浦町農業集落排水事業の決算の説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

上下水道課関連について質疑はありませんか。

質疑はありませんか。

筈議員。

○9番（筈 公一君） 集落排水のほうでも構わへんね。

集落排水のほうで確認しておきたいんですが、今回機能強化ということで自家発電のことされたんですが、これ令和5年度の補正予算のときのマネジメントシートには総事業費が5,400万円というようなことで出てますね。それが6月の繰越明許のときには3,700万円という形になっと思ったと思うんですが、そこらあたり、ほんで今回の事業も3,700万円でされとんですが、5,400万円から3,700万円に減っていった理由っていうんはどういうことがあるんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 当初その見積りというか、設計をした段階で物価がかなり高騰していることがございまして、それで物価高騰のほうを見込んで国費の要望を、予算組みを行ったんですけれども、実際に入札をかけて蓋を開けてみて事業を実施してみたらそれほど費用がかからなかったもので、先に一番優先しとった自家発電装置をまず実施させていただきまして、残った分っていうんは、その事業の中で計画しているほかの項目を優先的に実施させていただくようになったという次第でございます。

○議長（松田貴志君） 筈議員。

○9番（筈 公一君） 前、今の言うた5,400万円、ひょっとしたら物価高騰とかがあっていろいろ高くなるかも分からんから多めに予算をしとったけど、設計したら3,700万円で済みそうなんで、あと残る分はほかの事業に回すことにしたと。ほかの事業っていうのは、この6年度にはやったらんわけやね。3,700万円だけしか、多分これ事業のどこ、ここへ出てきとらんから。何かほかにこの2,200万円ぐらいはどういう使い方をされとんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 6年度の事業といたしましては自家発電装置の設置

だけでございます。

○9番（筈 公一君） だけやね。

○上下水道課長（大上誉司君） 6年度については、まだ国費がございしますが、それはまた繰り越しまして7年度に実施するようにはしておりますので、それで現在もう工事発注もかけておまして、ある程度の進捗はできております。

○議長（松田貴志君） 筈議員。

○9番（筈 公一君） もう一点確認は、これ初め説明受けたときと場所が替わりましたね。初めのマネジメントシートのときには建物の横のところにするということだったって、そのときにちょっとこって1メートルぐらい水がかさが上がるころになつとるんで大丈夫かって言うたら、それは大丈夫やっていうことだったんですが、実際にやってみたとこは、広場のというか、グラウンドのところへ替わったですね。それを替わることによってこの事業費が変更になったっていうようなことはあるんですか。場所が替わったことによる事業費の、余計要ったとか、逆に少なくなったとか、そういうことはあるんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 全く事業費が変わらなかったということにはございません。ただ、ほぼ同じぐらい、若干お高くなりましたが、ほぼほぼ同じぐらいの予算でできております。

○議長（松田貴志君） 筈議員。

○9番（筈 公一君） 場所は替わったけれども予算内ではできたというようなことですね。

それと、ちょっとこの予算とは関係ない話なんですけれども、この際なんですけど、実は横瀬地区で宅地造成で4軒して、このときには2軒売れて家を建てていただいたんですが、その人と話をしとったら、何かいろいろ建てるに不安と思うたことありますかって言うたら、トイレのところ、横瀬地区はできるだけ集落排水に優先的に入ってもらうようにしとんですけれども、それに対する説明がのうて合併浄化槽との違いが全く分からなかったと、ひよっとしたら先々ではこの合併浄化槽にまた替えないかんときに負担金が要るんかどうかっていうのを非常に不安になっているというような、2軒ともそういう話でした。

それで、私が答えられるところは答えといたんです。集落排水にしたところで合併浄化槽よりは維持管理費は高くなるようにはなってませんというようなこととか、当面は耐用年数のこともあるんで、ほないにすぐに合併浄化槽に替えるということはないと、将来的にはいろいろ検討はしているということですが、そのときやって、全部、この人が心配なのは個人負担でそれをせにゃいかんのんかっていうところが不安やということだったんですよ。それは私もできるだけ、まだその個人負担でせにゃいかんかどうかっていうんは決まっとらんのものでということで、それは説明しといたんですが、特にこれからお願いしたいんは、この前、あと残り2軒が完売したということで、近々のうちにまた家を建てていただけたらと思います。そのときに、あらかじめ集落排水のことについて、多分建築の申請とか出てくると思うんで、そのときに横瀬地区の集落排水はこんなんですよということをぜひ説明しといてあげてもらいたいですよ。これはよろしくお願ひしたいと思いますが、課長、どうですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 昨年の横瀬の住宅の、さっきの2軒のときにも住民様に説明はさせていただきました。将来的に今検討しようる最中やけん方式が変わるかも分からんというようなお話をお二人ともさせていただいたんですけど、それが私どもの説明が十分にできてなかってうまく伝わってなかったかもしれんんですけど、その反省も踏まえて、この間議員もおっしゃっていただいたように、次の残りのお二人の方というのはこれからの話になりますので、もっと建設課とタイミングを合わせて丁寧な説明をもう一度していこうと考えておりますし、絶対にすべきことだと認識しております。

○議長（松田貴志君） 箒議員。

○9番（箒 公一君） 一番不安に思ったことがそのことと、2人の2軒の人がそう言いましたんで、横瀬地区は集落排水ということでちょっと特殊な事情がありますんで、そのことの特にメリットのほうを、当然デメリットというのは、今僕たちはメリットのほうがあると思うてますんで、そこらあたりのことをよう説明しといてあげてください。これからのことになると思いますんで、これはちょっと要望として言うてきます。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 多分前にも説明を受けたと思うんですけど、忘れてしまったんで、再度お願いしたいんですが、し尿処理のところでは令和6年から還付金があるということで600万円ばかり返ってきて、これの理由を教えてください。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 衛生組合の運営っていいますのは、小松島市を含む関係団体の首長さんたちが集まって運営とか協議して、議員さんたちが運営していただきなんですけど、その中で、説明もあったんですけども、今まではその余剰金っていうのは基金として積んでいたというふうなんですけど、その基金も十分に積めたのでこれ以上積む必要もないので、それよりかは地元の、地元というか、各自治体の一般財源のほうに還付するように令和6年度からなったというふうに説明を受けております。ですから、令和6年度の5月の出納閉鎖ぎりぎりぐらいのときに入金があったということでございます。

以上でございます。

ですから、今後はその還付金というのは、額はちょっと毎年未定なんですけど、続いていくと、あると思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） そしたら、ちなみにこの表を見ようたら、佐那河内村だけはマイナスなんよね。ここらの理由ってちゅうんは何かあるんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） ぶっちゃけたらもうきちんとした理由は分かりません。これは衛生組合のほうで作成していただいた分なので、結果としてこうなったというふうなことはお聞きをしているんですけども、詳細なことはちょっと分かりかねます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 持ってくる量が少ないとか、そういうわけではない。そういうことではない。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 申し訳ありません。今それ以上の答えはありません。

ん。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 分かりました。

ほんなら、もう一点、簡易水道の資料のほうの11ページのグラフをつけていただいとんですけど、11ページの一番下、漏水量の推移っていうんで、この数年ずっと工事をされとうようですが、増えとんですよ、また漏水が。ここらの理由、原因云々つかんどうか、お願いします。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 大体はつかんでおりまして、実際に町営化ができているところとできていないところがあるんですけども、町営化ができていない、今委託しているところの地区があるんですけども、その地区のところのほうにおきまして断続的に漏水があったために全体的に漏水量が増加しておりました。それは発見して止めることができましたので一過性のものだと考えておりますので、今のところはもう対応できております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 委託しとうところも漏水量が量れるようなシステムがあるんですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 量れるもんといいますか、実際漏水箇所を発見しましたので、そこを止めたということでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ほな、この量っていうんはアバウトっていうこと。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） すいません、ちょっと訂正させていただきたいんですけど、遠隔といいますか、携帯電話システムを使ってその水量を量ることができまうので、それによって、言うたら今現在漏水しようるかとか、どれぐらいの水使用しようるかとか、そういうことを把握し自分で現場に行かずとも役所のほうでできますので把握することはできます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） これは、委託しとうところもできるようなシステムがついとうちゅうことですか。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 町内の水道全部できるようになっております。

ちなみに、新しくなります西岡の分も付け替えて確認してできるようになります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ということは、正確な量うちゅうことやね。理解しました。ありがとうございました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 昨年かな、有機フッ素化合物が検査を1回されたと思うんですけど、その後、定期的に検査するっていうようなことはないんですか、例月で1回しか見つけられなかったんやけど。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 今、国のほうでその制度概要をつくり上げているんですけども、今たちまち今年度も実施いたしました。7月中に採取のときに一緒に採取いたしまして、検査結果もホームページにも載せてあります。今回も全然問題なく大丈夫なので、ご安心ください。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 分かりました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） すんません、お尋ねします。

このグラフのあれなんですけど、この単位が書いてない、単位というか、量だけ書いとんやけど、これ単位がないんで、人口なんか、リットルなんか、トンなんか、これどうなんですか。

全てにおいてないんですよ。そやけん、トン数なんか、量、リットルなんか、人数なんか、ここら辺お願いします。

大体は分かるんやけど、大体は分かるんやけど、トン数なんか、リットル……。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 決算資料の一番後ろについてうグラフですよ。

○6番（瀬戸直一君） はい。

○上下水道課長（大上誉司君） 大体、すいません、来年からはもっと改めますので、今年はこれでご容赦ください。

それで、水道の水とかの使用料っていうのは全部トンになりまして、あと人口とかは人数です。

○6番（瀬戸直一君） 人数やね。

○上下水道課長（大上誉司君） ほんで、普及率はこれパーセントです。

○6番（瀬戸直一君） パーセントね。

○上下水道課長（大上誉司君） あとは、みんなトンなんです。

○6番（瀬戸直一君） トンですか。分かりました。ありがとうございます。

○上下水道課長（大上誉司君） 申し訳ありません。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。

ほかに質疑はありませんか。

いけますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） これで上下水道課関連の質疑を終わります。

議事の都合により、休憩します。

午前11時46分 休憩

午後1時29分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

福祉課関連の詳細説明を求めます。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 初めに、令和5年度の決算審査で指摘事項のありました事項について報告させていただきます。

令和5年度に指摘のあった事項は、休暇の取得と時間外についてでございました。その指摘を受けまして、令和6年度を取組としまして、コロナワクチン接種が定期接種になったことで休日の時間外が減少しました。また、事務分掌を割り振りし均衡化を図りました。

今後も、課内で協力し、時間外の削減、休暇取得に努めますと回答しております。続きまして、決算について福祉課の説明をさせていただきます。

まず、一般会計から説明させていただきます。

社会福祉費でございます。

100万円以上の主なものを説明いたします。

事業番号40001、18-301社会福祉協議会活動補助金1,270万7,083円は、社協の職員給料や福祉バス等の事業に係るものでございます。内訳は、説明書資料の2から3ページに掲載してあります。

続きまして、事業番号40002民生委員活動費でございます。こちらは、民生委員の活動に対する負担金や協議会への負担金でございます。

続きまして、40073非課税世帯等への臨時特別給付金です。新たに非課税等となった世帯への給付で、1世帯に10万円、子供1人につき5万円加算し給付を行いました。実績は102件で、子供加算は8名、決算額は1,060万円でございます。不用額につきましては、住民税非課税世帯への給付金として非課税世帯に3万円、子供1人当たり2万円加算の給付が開始となり2月に補正を行ったもので、7年度に繰越しをしております。

続きまして、障害者福祉費でございます。

主なものは、40007、19-12重度医療費、こちらは重度心身障害者の医療費の助成でございます。受給者数は、令和5年度が126人、令和6年度が121人でございます。

続きまして、40011、12-295地域生活支援事業委託料203万8,903円は、障害者の方が外出する際の移動支援に係る事業で、社協に委託をしております。利用者は27名でした。18-280及び18-306は、地域活動支援センターの補助金で、さるびあの指導員の人件費や運営に要する費用になります。

40013、19-18障害者自立支援給付費1億971万8,686円、こちらは障害者総合支援

法に基づき行っている障害者の介護給付，在宅介護や生活介護，施設入所に係るもの，また訓練等給付，就労継続支援や計画相談支援などで，それぞれの事業所に支払いをしております。107人の利用がありました。報酬改定があったため給付費が増えています。

事業番号40014，19－24障害児通所支援事業，こちらは障害児の放課後デイサービスの通所支援や相談の支援に係る給付です。こちらも報酬改定があったため増えています。37名の利用がありました。

40031，19－18障害者自立支援給付費564万8,475円は，腎臓器や心臓機能障害，また透析の方など対象疾病の方に必要な医療費の支給です。対象者の保険に応じて国保連合会や社会保険診療報酬支払基金への支払いをしております。

続きまして，3－1－3老人福祉費で主なものは，事業番号40016，27－5介護保険特別会計繰出金，また27－13低所得者介護保険料軽減繰出金は，それぞれの給付費に対して介護保険会計への繰出金になります。

続きまして，40017在宅支援事業，12－299食の自立支援事業委託料453万3,030円は，高齢者への配食サービスで，勝寿会への委託料です。利用者は48人でございます。18－360福祉移送事業補助金108万円は，福ちゃん号への補助金です。登録は71名あり，延べ利用数は546名でした。19－26高齢者移動支援助成金，タクシーチケットによる交通移動支援で，助成対象者は193名でした。

40021，19－13敬老年金は，80歳から89歳まで613名に5,000円，90歳以上の251名に1万円を支給いたしました。

事業番号40022，養護老人ホーム入所に係る措置費1,079万4,174円です。入所者は5名ございました。

40070，介護施設等物価高騰対策支援事業費補助金169万円，こちらは地方創生臨時交付金を活用し，物価高騰対策の支援として電気，ガス料金の一部を支援いたしました。対象施設は，介護施設と歯科医院になります。

事業番号40072介護施設等整備事業です。こちらは，後でマネジメントシートで説明いたします。

3－1－6 隣保館費です。

勝浦会館の運営費で主なものは，10－7修繕費143万1,900円，こちらは雨漏りをし

ていたため、北側屋上の防水シート貼り替えを行いました。

続きまして、3-2-1 児童福祉総務費です。

主なものは、事業番号40030、12-307地域子育て支援拠点委託料871万4,000円で、こちらはみかん保育園で行っている子育てサロンこあら組に係る委託料です。ゼロ歳から5歳の保育所に行っていない児童と保護者を対象とし、育児相談や行事を行っています。令和5年度は延べ383人の利用がありましたが、令和6年度は225人で利用者が減っています。原因は、保育所への途中入所が増えたためと考えられます。続きまして、18-316保育所運営費負担金1億5,268万9,570円、こちらは保育所の運営費です。各保育園への詳細は、説明資料8ページ、また児童数については説明資料9ページに掲載をしております。続きまして、18-326保育所運営費補助金714万7,200円、こちらは3歳から5歳児の副食費助成や待機児童対策のため確保している臨時保育士に係る費用の助成になります。18-330体調不良児型病児・病後児保育事業補助金899万2,000円、こちらは保育中に体調不良となった児童への対応のため、看護師の雇用に係るものです。18-600保育体制強化事業補助金348万円、こちらは保育施設の消毒や清掃、園外活動の見守りなど、保育士の負担軽減のため助手に係る補助金になります。

続きまして、40046児童手当費です。制度改正によるシステム改修を行いました。また、令和6年10月から対象児童が高校生までに拡大し所得制限も撤廃されたため、決算額が629万円増の5,522万円となっております。

続きまして、3-2-2、40034、12-309放課後健全育成事業委託料、こちらは町内の各小学校の学童保育に係る経費になります。クラブごとの内訳は、資料10ページに掲載してあります。

続きまして、事業番号40035、12-322は第3期子ども・子育て計画策定の委託料です。令和7年度から5年間の計画を策定いたしました。

次に、3-2-3子どもはぐくみ医療費は、後でマネジメントシートで説明いたします。

続きまして、4-1-1保健衛生費で、主なものは、事業番号40038、12-313予防接種等委託料1,704万5,696円は、予防注射接種に係る委託料です。コロナワクチンや高齢者インフルエンザ、また小児ワクチンについて接種者数や委託料の状況は、説明

資料16ページに掲載してあります。18-607インフルエンザ予防接種費用助成金、こちらはマネジメントシートで説明いたします。

続きまして、4-1-2健康増進事業、12-315健康診査等委託料734万7,063円、こちらは各種がん検診の委託料です。検診別の受診者数や委託料など、詳細については説明資料の17ページに掲載してあります。がん検診については、1,304人の受診がありました。令和4年度より令和5年度がアップし、さらに乳がん検診以外は令和6年度で受診率がアップしております。QRコードで申込みができるようになったことで受診率のアップにつながったと考えております。

続きまして、4-1-3母子衛生費、こちらで主なものは、12-311医師会検診等委託料221万7,505円です。こちらは町で行っている集団の乳児健診や歯科健診などの委託料でございます。

事業番号40050不妊治療費助成事業、こちらマネジメントシートで説明いたします。

続きまして、事業番号40061子育て世代包括支援センター事業です。こちらマネジメントシートで説明いたします。

事業番号40071、18-606出産・子育て応援ギフト135万円、こちらは妊娠届け時と出生届け時に面談を行い、それぞれ5万円の支給を行ったものです。実績は27件となっております。

続きまして、繰越明許でございます。

3-2-2子育て支援事業費、こちらはさきに説明をしました第3期子ども・子育て支援事業計画を策定しましたが、令和5年度に係る事業を繰越しし、支払いをしたものになります。業務量や業者選定をスムーズに図るため、令和5年度から2か年かけて作成をいたしました。

次に、令和6年度当初で主なものとして計上したものについて、マネジメントシートで説明いたします。

3款1項3目勝浦町介護施設等整備事業でございます。

町内介護施設の減災化や老朽化対応のため、改築に係る補助を行いました。地域包括支援センター分をはじめ、町が関係する施設に対して国の運営要領で定められた単価と同額で当初計上しておりましたが、令和6年10月に県の間接補助分の単価が変更

となったため、240万円の増額補正を行いました。最終、県の間接補助分も含め、総額3億6,488万円の事業となりました。工事は令和7年1月から着工となり、町からの支払いは2,240万円を3月に概算払いしております。予算額の残り3億4,248万円は7年度に繰越しをし、7年度に支払いを行います。

続きまして、子どもはぐくみ医療費助成事業です。

県の助成対象者が18歳の年度末まで拡大となり、入院時の自己負担が無償化、また所得制限が撤廃されたことに伴い、町独自で7歳から18歳の年度末までの通院に係る自己負担や入院時の食事療養費用を助成し、全ての年齢において医療費を無償化しました。

また、これまでは誕生月と年1回の一斉更新月に新しい受給者証を送付しておりましたが、月次や年次処理を不要とし、一度受け取れば18歳の年度末まで有効となるよう様式を変更いたしました。

続きまして、任意インフルエンザ予防接種費用助成事業です。

生後6か月から18歳及び妊婦に対して重症化予防と経済的負担を支援するため、インフルエンザ予防接種の費用を助成しました。13歳未満は2回、13歳以上は1回の助成で、助成額は、1回目2,000円、2回目1,000円を上限としております。実績は、1回目の助成者数は約161名、2回目の助成は98人で、事業費は44万4,600円で行いました。

続きまして、不妊治療及び不育症治療の推進に係る事業です。

不妊治療費または不育症検査治療費の自己負担の一部を助成し、経済的負担を軽減し安心して治療に臨めるよう事業化しました。不妊治療に係る助成額は、1人5万円を上限とし、2回まで可能です。事業費の実績額は29万5,550円で、3人で6回の利用がありました。

続きまして、妊娠出産期の支援の充実です。

産後ケア事業として助産師の訪問を行っていますが、作業療法士による乳児への発達支援や栄養士による食事を通した母子への育児支援を追加し、デイサービス型を拡大しました。利用数は、作業療法士が延べ72人、栄養士が延べ84人ありました。

続きまして、介護保険特別会計の詳細説明をさせていただきます。

各項目の100万円以上の主なものを説明いたします。

1-3-1 介護認定審査会費690万3,705円、こちらにつきましては上勝町と佐那河内村、勝浦で審査会を共同設置しております介護認定の審査に係る経費でございます。介護認定された認定者数は297人ございました。

続きまして、1-3-2 認定調査等費、主なものは、11-4 手数料133万8,940円で、介護認定を受けるために必要な主治医意見書の手数料でございます。

2-1-1 介護サービス給付費 8億644万4,176円につきましては、予防に係る給付や介護サービスに係る給付でございます。居宅サービス、地域密着型サービス等の内訳につきましては、資料の6ページに掲載してあります。

続きまして、2-1-3、18-353高額介護給付2,526万775円につきましては、介護サービスの自己負担額が負担限度額を超えたものに対して給付を行ったものでございます。段階ごとの詳細につきましては、資料の8から9ページに掲載してあります。

2-1-4 介護特定入所者サービス4,373万4,517円は、所得の低い方に対して自己負担の上限を超えた部分の食費や居住費に対する給付になります。こちらも詳細は資料の7ページに掲載してあります。

4-1-1 介護予防・生活支援サービス事業で、主なものは、事業番号41026、18-807、1億74万283円、訪問通所による事業費で、要支援1、2の方のデイサービスやヘルパーの事業費になります。

4-2-1 一般介護予防事業費、12-352介護予防普及啓発事業と、12-353地域介護予防活動支援事業につきましては、後でマネジメントシートで説明いたします。

4-3-1、41017、12-347包括的・継続的ケアマネジメント支援事業1,645万円は、介護予防教室や高齢者の相談等を行う地域包括支援センターの運営委託費でございます。12-348任意事業費165万5,560円は、配食サービスの経費でございます。

4-4-3、41032、12-1 事務委託料は、マネジメントシートで説明いたします。

6-1-2 償還金5,932万8,670円は、令和5年度の介護給付費等の確定に伴う返還金、6-3-1 他会計繰出金261万6,371円は、一般会計への繰り出しになります。

続きまして、詳細をマネジメントシートで説明いたします。

シニアのためのスマホ教室でございます。

令和6年度はタブレットからスマホに変更し、レヴィタで教室を開催いたしました。事業費の委託料は、ドコモショップを運営している株式会社ジェイ・アイ・ティに支払いをしたものになります。4講座を年3回実施し、延べ90人の参加がありました。

続きまして、シニアフィットネス教室です。

フレイルや認知症予防のため、新規事業として運動教室を開催しました。月2回、第1と第3金曜日に福祉センターで実施しました。事業費の委託料は、K - F r i e n d s に支払いしたものになります。延べ212人の参加がありました。

続きまして、介護予防トレーニング講座です。

タブレットを利用しゲームや記憶テストなど脳若トレーニングを行ってきましたが、令和6年度は新たに音楽教室を取り入れ、楽器を演奏したり歌を歌うことで認知症予防を図りました。委託料は、社協に支払いしたものになります。年間13回開催し、延べ226人の参加がありました。

以上で福祉課からの説明を終わります。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

福祉課関連について質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 福祉課の一般のほうのマネジメントシートの16で、説明で県のほうの関係補助が変わったためっていうのをもうちょっと詳しく教えていただきたいです。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 当初予算では、マネジメントシートに年度実施内容としまして書いてあります。10月に補正を240万円追加してあるんですが、こちらのほうが、県のほうの単価が変わったために240万円アップしております。

内容っていうのは……。

○5番（花房勝一君） 県が変わったと。

○福祉課長（長友清美君） 県の補助単価が変わりました、当初予定していたときよりも。その部分を県の間接補助分につきまして補正をさせてもらった分が上がってお

ります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 簡単に言うと、県からくれるお金が減ったということですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 県から入ってくるお金が上がったってということになります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ほな、町の負担が減ったということですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 町はもう予算どおりの額の補助ということで出しておりますが、県の部分がアップしてってということになります。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 理解しました。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

長尾議員。

○3番（長尾隆資君） お尋ねいたします。

金額等ではございませんが、事業名が保育等促進事業ということで、こすもす保育園、みかん保育園っていうのは分かるんですが、もう一つ、認定こども園牟岐保育園っていうのはどういうことというか、どこにあるんでしょうか。

質問が間違ってますか。

○議長（松田貴志君） いや、資料の……。

○3番（長尾隆資君） 8ページで。

○議長（松田貴志君） 資料のほうでないな。事項……。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 勝浦町から町外への保育所に通われている人の分になります。広域を利用している方になります。

○議長（松田貴志君） どこって言いよったけん、多分牟岐町だろうけど、ほこだけ言うて。

○福祉課長（長友清美君） すいません、私も場所と言われたらちょっとはつきりせんのですが、多分牟岐町でないかと思います。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） 分かりました。この部分については知らなかったのですが、遠方、牟岐まで行かれていての方がおいでるってということですね。

○福祉課長（長友清美君） 牟岐町まで、はい。

○3番（長尾隆資君） 分かりました。

それと、もう一つ、10ページの放課後児童健全育成、これ学童のことかと思うんですが、たけのこクラブと生比奈のちゃいんどクラブの職員の配置の状況っていうのが、人数がたけのこクラブとちゃいんどクラブと人数がかなり違うようなんですけど、それで児童数にしてみたら、ちゃいんどクラブのほうが人数は多いんですけど、職員さんが非常に少ないっていうのは、どんなんでしょうか、問題なく運営できているんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） たけのこクラブのほうにつきましては、今法人のほうで運営していただいておりますので、職員数は多いかと思えます。ちゃいんどクラブのほうにつきましては、長年こういったような職員で回してきていただいております、特に不具合っていうようなところは聞いておりません。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） ありがとうございます。

私もちょくちょくお迎えに行ったりするんですけど、特段何の問題もないようなんですけど、この表で見たら人数が少ないんで、ローテーションというか、常勤の人もおいでんようなのですが、そんなら運営はちゃんとできて問題はないということで安心しました。

以上になります。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） お願いします。

8ページのこどもの安全・安心な環境整備事業費補助金、右を見たら、保育所等における性被害防止対策に関わる設備等支援事業補助金ってありますけど、どのような

ことをされたのでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） パーティションを購入しまして、目隠し等に利用できるような設備を整えました。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） なるほど、分かりました。

それと、もう一つ、ここにはないんですけど、お伺いします。

ファミリー・サポートの利用で500円で利用できるっていうのを利用していただきました。お世話になりました。それはもう今も継続はされとんですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今も継続して事業をしております。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

美馬議員。

○7番（美馬友子君） 介護予防のほうでお聞きしたいんですけど、音楽療法とか脳トレ、すごく人気があって、音楽療法はなかなか手を挙げて参加できないっていうこともあって、講師先生も割と費用がかかるっていうことで、各団体では呼べなくなっていうことで、こんなんを動画で流すとか、ほんなんはできんのですか。せめてほれだったらアプリに入れてくれるとか、こんなことしてますよとか、できたらありがたいなと思うんですけど。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 掲載、ちょっと後ろからっていうような形で皆さんの個人情報もありますので、そういった形では載せさせてはもらってはおりますが……。

○7番（美馬友子君） 広報でね。

○福祉課長（長友清美君） 広報に。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 将来に向けてこの介護予防ってすごく大事な事業だと思うんで、どんな形で参加を呼ぶとか、参加するほどいいんですが、なかなか参加、そこまで行けないっていう方もおいでるので、こんなことをテレビではできんの、ほんまはうちの何曜日の何時に15分ぐらいのチャンネルがあったら流してほしいなと思うん

ですが、アプリができたんで、何か先生だけ、あれが要るのかな、許可も要るだろうと思いますけど、せめて5分ぐらい、こんなことしてますよとか流れたらいいかなと思うんと、フレイル予防っていうことで私たち、自分もフレイル予防せないかんで、フレイルサポーターってすごく大事なことと思うんですが、勝浦町はフレイルサポーターの資格っていうか、持ってる方おいでるんですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） サポーターの資格を持った方は、今のところおいでないです。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 私も講演会を聞いてみたりとか、自分の仲間のうちでフレイルサポーターになってくれたらいいなと思うんで、時間を見つけてこんなこともしたいなとも思うんですが、今11市町村の中でできているとこって少ないんですよ。それで、県が増やしていこうっていうことはご存じですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） サポーターの養成をしているのは認識しております。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ありがとうございます。

できたら支援もしていただいて、フレイルサポーターを養成して、自分も元気に、そして周りの人も元気にしていくっていうことがこれから地域でいろんな形で要るかなと思うんで、その点よろしくお願ひしたいと思います。

認知症サポーターも同じで、来年からまた強化に入ると思うんですが、認知症サポーターも役場の職員の方も協力していただいて養成講座を受けていただいとんですが、どれぐらいの人数ぐらいになっとんでしょうか。資料に載っったんで。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 6年度に32名の実績があったんですけど、すいません、トータルでは把握を今できておりません。

○議長（松田貴志君） また後でね。

○福祉課長（長友清美君） また後で報告させていただきます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ぜひよろしくをお願いします。

国も県も挙げてこれから認知症対策には力を入れると思うんで、その点よろしくお  
願いしたいと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） お尋ねします。

13ページの40071の18-606出産・子育て応援ギフトで、勝浦町出産応援給付金、  
27人っておっしゃいましたけど、27人生まれたんですかね。内訳は。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 出産時と、それと妊娠届け時に渡しますんで、出生数と  
しましては令和6年度は10名でございました。

○議長（松田貴志君） 瀬戸議員。

○6番（瀬戸直一君） そしたら、出産数は10人で、あと生まれた後のお子さんに給  
付金が要ったちゅうことですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 母子手帳を取りに来たタイミングのとくと、それと生ま  
れてからとなるので、もしかしたら年度がずれてる可能性もございます。

○6番（瀬戸直一君） ほんで、奇数になっとんやね。

○福祉課長（長友清美君） はい。

○6番（瀬戸直一君） 分かりました。ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 介護保険の保険料なんですけど、入の中の、私たち高齢者に  
なったんで、高齢者の率と若年の方の率ってどっかこの決算書で見たら分かりませ  
か。

介護保険の保険料で65歳以上の方はどれぐらい支払って、パーセントですよ、何  
歳か、40歳から払うんだっけ、64歳まで。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 介護保険の計画の中には資料があるんですけど、決算書  
ではちょっと分かりかねると思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 何が聞きたいかっていうたら、未納金もあるので、その未納の方で、高齢者なんだろうかな、若い人なのかなとか、そんなことも分析されとんかな。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 未納者については、報告することになっておりますので、誰ってというような名前まで把握をしているんですけど、そこを年齢別には並べたことがないので、年齢、名前で把握するようなことになるかと思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 分かりました。どれぐらいのパーセントか、また後でっていうことで、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 高齢者福祉事業のところでお尋ねします。

19の在宅支援事業の19-25が高齢者住宅改造助成費っていうのが0になっておりますが、これは所得制限か何かあるんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） こちらの一般会計のほうの住宅改造助成費、こちらにつきましては、先に介護保険等を利用されている方はそちらのほうでこういった同じような助成費の助成がありますので、そちらを先に使っております。こちらの一般会計のほうの分につきましては、非課税っていうような所得制限というのがございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 介護保険の場合は1割負担で20万円までなんですけど、両方を併用するっていうことは不可能なんですよね。どちらかを選ばなあかんのですよ。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 併用はできます。そういった要件に該当する方であれば併用はできます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 非課税で介護保険を受けていれば介護保険のほうで20万円までの1割負担っていう方は2万円の、そしたらこの高齢者のほうは負担割合はどのようになるのでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 本人負担が3分の1で、町が3分の1、また県が3分の1になります。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 最近、台所にベッドを置いてあまり移動、トイレに近いところで寝起きをしたいっていう相談があったんですけど、その方はもう80代後半で90歳近いんですけど、介護保険の認定を、お元気なんで多分受けてない方だったので、そういう制度があるっていうことも知らずに自己負担でされたと思うんで、私も勉強不足だったっていうことをこれを見て反省しましたので、もう少し高齢者の方のおうちで元気に過ごされるっていうことに対しての支援制度がきめ細かくあるっていうこともお知らせすることが必要だと実感しておりますので、また対応をよろしくお願いします。

それと、もう一点は……。

○議長（松田貴志君） いけるん。

○10番（井出美智子君） 返事もらおうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 広報等とか、また案内はしているんですけど、またそういった方の相談がありましたら、また詳しく説明するようにしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 役場に相談に行ったらいろんな助成制度があるから一度相談に行きましょうかっていうことで、車の免許も返納されている方の場合は、役場にいろんなところに相談に伺うっていう習慣を私もつけたいと思いますので、そのこともまた周知していただければと思います。よろしくお願いします。

それから、福ちゃん号のことなんですけど、男性が3人で女性が69人の登録っていう資料があるんですけど、これは偶然こうなったのでしょうか。男性が登録しにくいっていうことはないんですよね。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 福ちゃん号を利用されているのは、買物がメインで今運行していますので、そういった感じで皆女性の方が誘い合わせて多分来られているので、女性の方が多いでないかというふうには考えております。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 男性の方は、高齢の方はあまり家事とか買物の習慣がないのでこうなったのかなとは思いますが、男性の方で独り暮らしになっている方もおいでるので、自立して自分で買物ができる男性の方ももっと、買物をするっていうことは頭も使いますし、それが御飯を炊いて自炊につながると思うので、福ちゃん号の男性へのお誘いも気をつけてしていただければと思います。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 男性の方にも声をかけれるように、またアイデアを絞っていきたいと考えます。

以上です。

○10番（井出美智子君） よろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） これ毎年聞かせてもらよんですけど、3ページの一番上の12-355個別避難計画作成業務委託料で執行率12.7%、去年よりも悪うなっと思ふんですけど、これの要因、お願ひします。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 予算ベースで言いましたら、当初60件ぐらいを見込んでおりましたが、もうこの制度は令和4年度からつくり始めておまして、6年度は新規の作成がそこまで達しなかったのので、予算的にはこういった形で表れています。

6年度は新規に、今までよりはちょっと少なかつたっていうようなところが結果に出てきています。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） もう全体的に充満してきたっていうイメージでいいんですかね。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） そうですね、始まった当初、令和4年度は62件あったんですけど、令和5年、6年とだんだんと新規の数が減ってきたような状況になっております。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 必要のない人には必要ないと思うので、それはそれでいいのかなと思うんですけど、もう一つ、これつくるだけでは意味がないと思いますんで、たまたま避難所運営マニュアルの説明会がうちの生名地区ではお盆明けでちょうど9月の防災訓練の前にあって、避難所運営マニュアルの中には避難行動要支援者のためのグループをつくるというところもあったんで、そのときに総務防災課に質問したんですけど、分からないと、何でですかっていうことを言うたら、福祉課との連携ができてませんってはっきり言われたんです。そこらはどう思います。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 具体的に福祉課のほうからこうしてほしいっていうような話がまだきちんと、もしかしたら伝わってないところもあったかと思うんですけど、福祉避難所、そちらのほうにつきましては、福祉課で今マニュアルも手がけているところです。そういったことについても、また情報提供をして総務課には協力を求めたいと思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 運営マニュアルの中には、避難行動支援者のための施策も書いてあるんです。だから、各地区でもやらなければいけないのかなというふうに理解しとんやけど、そこら辺については、見ました、あれ。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 簡単マニュアルについては、今回私も防災訓練のほうに参加するに当たって拝見しました。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 連携が必要ですよ。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） それについては、個別避難計画、こちらのほうをまた提

供をさせてもらって、ぜひとも活用していただいて皆さんのご協力を得たいと思っております。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 遅くとも来年のまた訓練までにはお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） いいですか、すいません、その関連です。

要介護の認定者数の、ページが介護の補足資料の4ページです。

特別養護老人ホームに入所するんは要介護3以上っていうことで、159人が入所できるんですが、そんだけ喜楽苑は入所ができないんで在宅においでると思うんですが、どれぐらいの方が在宅におるんかっていうんと、要支援1, 2, それから要介護1, 2の方の合計を表しても二百何人ぐらいは個別避難計画が要るんちゃうんですか。まだ60人だったら、まだまだ地域の方も協力して個別避難書を作らないかなのではないかなって私も思いますが、在宅率というか、その件分かりますか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 在宅者数が263人で59%、施設の方が93人で21%になると思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 要介護3から5の方が在宅でおいでるっていうことは、大変なケアが必要な部分は何%ぐらいかなって私は聞いたんですが、これ全体の話ですよ。442人のことを言ってくれたんですよ。ということは、263人は在宅でおいでるっていうことやけん、263人分の最低個別避難計画は要るっていうことやな。でもない。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） マニュアルですと、自分では避難できないっていう方が対象になりますので。

○議長（松田貴志君） もう一回言うてくれる。もう一回言うてだ。当てるけん、もう一回一から。

○7番（美馬友子君） 今計算してくれよん違うん、要介護3から5の人の在宅人

数。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午後2時30分 休憩

午後2時32分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 要介護の3から5の利用者数が82名、1から2が106名というようなところで188人。

○7番（美馬友子君） 188人。

○福祉課長（長友清美君） はい。

○7番（美馬友子君） 188人が……。

○福祉課長（長友清美君） 188人が個別避難計画の作成に必要な方というような数字にはなってくるかと思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） その方が福祉課では分かってるんだったら、地域の方にもお願いして、多分支援員がネックでなかなか決まっていかなってという話も聞いたんで、しっかりと議員の皆さんも協力して、この人は隣のこの人がええよとかサポートもしてあげてくれたらどんどん決まっていくんではないかなと思うんで、民生委員さんとか包括の人と話しながらどんどん進めていってほしいと思います。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今包括のほうにお願いして、なかなかそういった話も支援員さんが見つからないっていうようなところでも話もいただいておりますので、福祉課としましても、またどんな方法で見つけていただけるのか、また民生委員さん等の会でもそういった話をまたさせてもらって、協力していただけるように進めていきたいと思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） この件は、花房議員も言ってるように、自主防の方にも相談したほうがいいと思います。私たち棚野区は、自主防災隊が個別の支援員を決めて動いています。そんなこともできると思うんで、区長さんのときにでもお話もされよう

と思うんですけど、もうちょっと強化してできたらいいなと思っています。

それから、一般のほうの6ページの介護タクシーの件です。

この件、前も言いましたが、196万円で193人が利用されたって言いますが、介護保険をしっかりと払った人が介護タクシー使えんのですよね、車を返納しても。それって何か矛盾してないでしょうか。

非課税っていうのを除くっていう方向にぜひ持って行っていただきたいと私は願ってとんで、もう介護保険をしっかりと払った人が介護タクシーを使えるようにどうぞお願いしたいと思います。これは要望です。

町長に返事もらおうか。

要望、要望。

○議長（松田貴志君） 要望でええん。

○7番（美馬友子君） 要望で、要望で。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

玉置議員。

○4番（玉置 守君） 一般の3ページのほうをお開けいただきたいと思います。

3-1-2でございます。障害者福祉費、障害者に係る金額でございます。1億7,658万7,643円、小さな数字まで上げていただきまして、ありがとうございます。6年度における対象者数ですが、4月と3月だったら大分違うと思うんですが、大体のところは何名って分かりますか。

○福祉課長（長友清美君） この給付を受けた方の対象者数っていうことですかね。

○4番（玉置 守君） 構わんで。障害者手帳を持たれた方っていうんで。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） すいません、今手持ちの資料では計画の相談の計画者数、計画の相談支援というところで障害サービスを使われている方の実人数が40人っていうようなところでございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 手帳を持たれとる方は何名ですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） すいません、今資料を持ち合わせておりませんので、ま

た後で報告させていただきます。

○4番（玉置 守君） 大体でも分かりませんか。ほの4月1日やというんでなくて、大体何名っていう。

もうほんなら1級，2級，3級，6級まであるんやけど，もう全部集めて全員で何ぼかっていうぐらい，どのぐらいですよ。

○議長（松田貴志君） 正確な数字を伝えたほうが，もし議論が進めるというたらこっちがいいかなと思うんですけど，どんなんですか。大体でいいんですか。

○4番（玉置 守君） 後で，ほうなったら調べてくれるんでしょう。

○議長（松田貴志君） また，報告……。

○4番（玉置 守君） 大体，今おっしゃるんは，記憶しとんではないんですか。去年も何かちょっと聞いたような気がするんやけどな，私忘れてしもうたけん。

○議長（松田貴志君） やけん，玉置議員の聞きたい内容には，そのきっちりした数字が欲しいのか，大体でいいのか。

○4番（玉置 守君） 大体でいいですから。

○議長（松田貴志君） そやけど，大体……。

○4番（玉置 守君） 流動しようるけんな，この……。

○議長（松田貴志君） いや，もし……。どうする。

○4番（玉置 守君） ほやけん，4月1日付で何人っていうんでなくて構わんけん，大体……。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 1から6級までということでしたので，おおよそ400人ぐらいっていうことで把握してます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） ありがとうございます。

そしたら，1人で割ったら44万1,469円っていうことで，すごい一人頭に係っている基準ですね。非常にありがたいなというふうに思っています。

私どもも障害者としていろんな活動ができています。障害者になったから何もできないんだよっていうんでなくて，いろいろ社会貢献としてボランティアなり仕事なり，また地域貢献ですね，いろんな形でやっています。これに対していろんな形で支

援をしていただきまして、今ちょっと簡単にしたら44万円ぐらい一人頭かかっています。非常に福祉として、勝浦町として福祉に対する現れでないかというふうに感謝申し上げます。

これからも、まだ障害者っていうのは増えてまいります。例えば言うたら、私の母も先月高齢でペースメーカーも入れるような形になりますし、いろんな病気を発症します。私ももちろんがんを発症いたしまして手術関係をいたしまして、今は4級ですが、障害者の手帳を持たせていただいております。こういった形で増えてきますので、これについて同じようにこういうサービスが受けれるような形で、注意をしていただきたいなというふうに思っています。

こういった小さなことは、なかなか行政としても気持ちを持ってやっていただければなりません。私言いたいのは、私は4級でオストミー協会っていう会に入っておりますけれども、その中でも各市町村によって担当者が非常に認知度が高いところと低いところがあります。また、支給の補助についても高いところと低いところがあると思います。

先ほどの新聞の中では、県内でも高いところと低いところの差が4,000円幾らってというような形も出ましたんで、できるだけ勝浦町も、できたらトップクラスの福祉をお願いしたいなというふうに思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

笹議員。

○9番（笹 公一君） 資料の9ページのところに保育所の入所児童数が出ているんですけども、先ほどの瀬戸議員のところの答弁でもあったんですが、去年生まれた方が10人っていうことで、これを見ますと、あと一年たったらこの5歳児の方が退所されて、あと入ってくるのは非常に少ないなということが予想されるんですが、傾向的にゼロ歳、1歳、2歳が非常に少ないんで、こすもすのほうは今のとこ定員はオーバーしとんですが、みかんのほうはかなり少ないと。これがまた、今の5歳児が、先ほど言いましたように、退所したら、入ってくる人は非常に少ないんで、以前に30人台になったときに保育園のほうから議会のほうに対して要望が来たことがあるんです、何かもう少し子供が増えるようなこと、施策をしてくれというような形で。

そういうことも含めて、これをしたら30人を割るようなことになるのかなと思うんですが、そこで、保育所を運営していくことにある程度の基準ってあるんですか。例えば、何人ぐらいになったら黄信号がともるとか、ほういうことっていうんは、言うたら保育園のほうでもう考えておるのか、役場のほうでも考えとるのか、それとか子ども・子育てとか計画とか立つ中でそういうことっていうんは含められとるのか、そういうところっていうんはどんなんですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 子供さんが少なくなったら補助金が少なくなるっていうようなところで事業のほうがなかなか回っていかんっていうようなことは保育所のほうから聞いたことはありますが、今7年度につきましては、先ほど6年度の出生数が10名っていうことだったんですけど、7年度の予定では15名っていうようなところで若干増えておりますので、そういったことも期待しつつ、今までのしてなかったような在宅のお子さんに対しての支援金とかも、そういったことも考えて7年度からスタートさせましたので、もうちょっと様子を見ていきたいっていうふうには考えております。今すぐ困るっていうような話は、まだ耳にはしておりません。

○議長（松田貴志君） 籾議員。

○9番（籾 公一君） ということは、何人ぐらいになったときにはいろいろ検討するとか、そういう水準ってもう今のところはないということですか。

以前には、小学校のときに生徒数が何人以下切ったときにはまたいろいろ考えるよということが、ずっと以前ですよ、そういうことがあったんですよ。一つの基準みたいなものをしとったところがあるんやけど、そういうことは今のところないということ。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 町外からも通われてる方もおりますので、何人っていうような基準は、すいません、私は把握をしておりません。

○議長（松田貴志君） 籾議員。

○9番（籾 公一君） 今課長のように言った明るい兆しもあるんで、当面はそれを推移を見てできるだけのことはしていきたいというようなことで今回はええんですが、保育所のほうからも、もうこれ先どないになるんだろうかっていうようなことも

ちょっと聞くんですよね。実際にこういう数字が出てきたらなるほどなというような気がしますんで、こういうちょっと中・長期的なことっていうんも考えていかないかんのんじゃないかなというような気がします。そこらあたり、計画にはある程度反映されるんですか。僕も子ども・子育て会議のこの計画っていうんは中身が分からんもんなんで、そういうことも含めて計画の中には入っているんですか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） そういった議論も計画策定するときには出ましたが、それぞれの小学校がある限りは保育所も残しておきたいっていうようなところでまとまったような状態でございます、今回の計画については。

○議長（松田貴志君） 籾議員。

○9番（籾 公一君） もう個人的にも当然保育所はずっと残ってもらいたいなど、特に私は地元でもありますんで、そういう気持ちはあるんですけども、ある程度逆にちょっと客観的に見たとき、あまりにもこれでは厳しいんちゃうかなというようなことも併せて感じますんで、ちょっと確認させてもらいました。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 説明書の3ページのところの上のほうに17-1のポータブル蓄電池を購入されていますけれども、この蓄電池の充電量の管理とかってどのようにされているか、分かりますかね。

というのも、充電してても時間を置いてほっておくと放電をちょっとずつしていくんです。それでゼロ%になって、さらにほっておくと完全に放電してしまって次充電ができなくなります。なので、ある程度管理をしておかないと、災害時に使いたってなっても使えないので、そのところどう考えられているのか、もしあれば。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） この蓄電池につきましては、福祉避難所である喜楽苑のほうに設置させてもらってますので、そちらのほうでふだんから活用というようにところで使っていただいているところでございます。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1 番（内谷安宏君） 日頃使っているんでありましたら、減ったら充電してっていうのを繰り返していると思いますので、いけると思います。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。  
ありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、これで福祉課関連の質疑を終わります。  
議事の都合により、休憩します。

午後 2 時50分 休憩

午後 2 時59分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会事務局関連の詳細説明を求めます。

松本議会事務局長。

○議会事務局長（松本博文君） 令和 6 年度一般会計歳入歳出決算主要事項説明書によりまして議会事務局関係の説明をさせていただきます。

1 款 1 項 1 目議会費、決算額4,621万6,691円。主なものといたしまして、1－1 議員報酬2,480万4,000円、これは1年間の議員の報酬となっております。3－7 期末手当820万818円、6月、12月の期末手当でございます。続いて、4－2 議員共済会負担金718万2,000円、主なものといたしまして、議会議員共済会給付費負担金、これは議員年金の地方公共団体負担金となっております。

続いて、2 款 7 項 1 目監査委員費、決算額が88万6,340円となっております。

続いて、令和 6 年度に行いました議会関係の事業についてマネジメントシートを使って説明をいたします。

令和 6 年度高校生模擬議会を開催いたしております。

事業評価といたしまして、模擬議員となっていた小松島西高等学校勝浦校生は、学校や同級生の協力の下、質問テーマを決定し、調査研究、質問の作成や議場の一般質問など、苦労や緊張感があつた中、模擬議員をやり遂げた達成感を味わい有意義なものとなっていました。学校関係者からは、日頃学校で見ることができない一面が見られ成長を感じていると評価をしていただきました。

議会といたしましては、高校生と話し合いを重ね、質問書の作成や一般質問をサポート

トできたことは生徒の成長に寄与することができ、住民に開かれた議会を目指した議会の目的を体現、発信することができたと考えております。

当初、予算で計画しておりました記念品6万円につきましては、全額高校に贈っております。

議会事務局の説明といたしましては以上でございます。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

議会事務局関連について質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 局長に質問ではないのかなと思うんですが、高校生議会、大変私たちもよかったと思っています。ほんでまた、その一つの内容を採択していただいて、通学バスの補助ということで当初予算に組んでいただきました。

それが6月の時点ぐらいではまだ運用できていないということを報告を受け、またたまたま高校の先生に8月に会うたらまだだということだったんですが、教育長がもしも知っておれば、どのような進捗状況か教えていただけたら、もう2学期が始まるとんで、高校生に対してどんなのかなと。

○議長（松田貴志君） 市川教育長。

○教育長（市川公雄君） この間9月に入って、先週勝浦校より校長先生、副校長先生がおいでで、石木局長と具体的なところを相談しております、もうかなり細かいところを詰めておりましたので、近いうちには実現可能かなと考えております。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） もう2学期も始まったんで、できるだけ早くということでお願いしといてください。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

ありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） これで議会事務局関連の質疑を終わります。

お諮りいたします。

認定第1号、令和6年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを第二読会に付することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議なしと認めます。本件は第二読会に付することに決定いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。

明日9月12日午前9時30分から会議を再開します。

午後3時05分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員